

第四回 理事会議事録

1. 開催日時及び場所

- (1) 日時 2023年1月22日(日) 10:30~12:30
- (2) 場所 親蔦クラブ

2. 出席者 理事 13名・相談役0名・監事0名・顧問 1名・次期理事候補1名 計15名

3. 議 題

- (1) 2022年度事業報告案
- (2) 2023年度事業日程案
- (3) 理事異動の件
- (4) 親蔦会創立90周年記念事業に関する件
- (5) 各委員会活動報告と今後の活動予定
- (6) その他
 - ・2025年母校創立100周年記念事業について
 - ・本部と近畿圏共催による仮称「ホームカミングデー」について
 - ・ICT環境支援募金の取り扱いについて
 - ・卒業記念品について
 - ・卒業式、入学式への出席の件
 - ・会費他納入実績2月末日報告

4. 議 事

議事開始に先立ち、春名校長先生にご挨拶を頂いた。その後、会長が議長に就任、議事録署名人に次の2名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異議なく拍手にて承認された。

白石美弥子、藤原智子

① 2022年度事業報告

事務局より報告。 蔦57号は4月末日に発行した。新型コロナ感染拡大で2度も延期した総会の母校開催が実現できた。6/5(日) 10:00開始。感染防止の為総会議事のみ実施。会議終了後、校内理事の森岡先生による校内案内を実施した。現地解散、自由昼食とし、午後親蔦クラブにて自由参加の二次会を実施。

出席者44名(内運営委員32名)、運営委員総数62名につき、総会成立できた。

理事会は5/8(日)、10/2(日)、2023/1/22(日)いずれも10:30開催、同日午後に企画・運営委員会を実施。会計監査は4/3に予定通り実施、総務委員会と広報委員会は適宜実施できたが、他委員会や人材バンク意見交換会は新型コロナ感染拡大の為、今年度も実施できなかった。

オープンデーもコロナと10/10の創立90周年記念祝賀会準備の為、殆どの日程で会議のみの実施

とせざるを得ない状況であったが、11月と1月にY20 光田氏、Y20 宮原氏に講演を頂き、12月には今年も無事クリスマスパーティーを開催でき、ようやく本来の形のオープンデーに戻す事ができつつある。4/8の第76回入学式は山本会長出席、前日の親蔦会入会式には戸田副会長が出席。各支部親蔦会は、首都圏会のみ実施。6/26日本外国特派員協会、54名参加。他支部はコロナと90周年祝賀会協賛の為、開催は無かった。

② 2022年度事業日程案

事務局より報告。蔦58号は例年通り4月末発行する。

第93回総会は6/4(日)、親蔦クラブにて運営委員のみの参加での開催とする。

事前に資料を運営委員自宅宛て送付し、参加可否を事前連絡頂くものとする。不参加の場合は議長又は特定理事に委任するか、議決権行使するかを選択頂く。参加は運営委員のみだが、運営委員は誰でも就任できる為、出席希望者は事前に運営委員登録の上参加頂くものとする。会議後の会食やアトラクションは、後に提案する仮称「ホームカミングデー」で実施する事にし、総会は議事に特化する形とする。

毎月第三日曜に開催のオープンデーは今年度も継続開催するが、コロナ感染状況により中止も考慮する。各支部親蔦会に関しては、近畿圏会が仮称「ホームカミングデー」で開催予定の他、中国・四国圏会及び九州圏会共、今年度は久々に開催を予定している。内容決定したらホームページにて通知するので多数の参加をお願いする。首都圏会は隔年実施の為今年度は実施無し。卒業式には山本会長、前日の親蔦会入会式には戸田副会長が参加予定である。

③ 理事異動の件

現理事20名のうち、中尾理事より体調不良の為辞任の申し出があった。又、白石、山口、向田の3名以外が任期満了となる。今後の継続の意思確認を実施し、欠員が出れば補充を検討する。いずれも総会終了後に登記手続きをとる。

④ 親蔦会創立90周年記念事業に関する件

記念事業とは、①記念祝賀会、②記念事業としての母校援助、③同じく記念事業としての親蔦クラブ改装の3件からなるが、そのうち②、③は昨年度にて終了、新型コロナ感染拡大の為2度の延期を経て、残りの①が10/10に神戸ポートピアホテルにて331名の参加で無事終了した。

会計報告をするにあたり、コロナで①～③の各事業を3年に渡って実施した為、報告も3年分が必須となり少々難解な形になっているが、理事会及び来年の総会にて報告の上承認頂くものとする。又、蔦58号誌面にも掲載予定である。

昨年整備した③親蔦クラブは、現在使用希望が着々と増加中であり、親蔦会の宝物として、更に蔦にてPRを継続する所存である。

⑤ 各委員会活動報告と今後の活動予定

◎総務委員会

向田委員長より報告。総務委員会はオープンデー実施日に開催中。仮称「ホームカミングデー」の会場にて徐々に人材バンク登録者による各種相談会を開催したい。

◎年間行事企画委員会

渡邊委員長より報告。コロナで各種行事が計画できない状況である。提案募集する。

◎広報委員会

事務局より報告。蔦58号編集作業中。2/12AM編集会議開催予定。多数参加頂きたい。

発送は例年通り 4 月末日となる予定。

◎会費納入促進委員会

宮原委員長、理事退任につき、後継者探し中。

◎ホームページ充実化委員会

委員会として毎回報告案件は無いので、今後は広報委員会の下部組織とする。

◎総会活性化委員会

戸田副会長より報告。仮称「ホームカミングデー」の誕生により、総会は議事のみ限定し。

会食及びアトラクションは新会と役割分担をはっきりさせる事にする。よって。今後は

「総会及び会員懇親会活性化委員会」と改名する。

⑤ その他

◎三橋副会長より、2025 年の学校創立 100 周年記念事業について準備進捗状況に関する報告があった。

実施日は 2025 年 10 月 10 日(金) 神戸国際会館もしくは神戸文化ホールにて開催。こちらは在校生主体となる。翌 10 月 11 日(土)、ホテルにて懇親会開催予定。との事。

◎仮称「ホームカミングデー」について

近畿圏親鸞会を発展的解消とし、改めて本部主催にて年に一度の新懇親会を計画している。

初回は音楽系のアトラクションを予定、若い人、初親鸞会参加の人を多数誘って楽しい会に育て、2 年後の母校 100 周年、7 年後の親鸞会 100 周年に繋げて行く所存である。

開催予定は 58 号に掲載する。多数の参加を頂きたい。

◎ICT 環境支援基金の取り扱いについて

今年度より募集開始の募金について、現在 13 万円の募金額となっているが、現行の部活援助募金のような基金化→毎年同額援助は難しい為、毎総会時に昨年度の募金額全額を学校にお渡しする形とさせて頂く。

⑥ 事務局より報告他

生徒会と親鸞会で折半して贈呈する卒業記念品について、今年も卒業証書ホルダーとし、親鸞会負担分¥95,900 を振込完了した。

12 月末現在の会費他納入実績を報告。

5. 閉会

最後に議長は、それ以上の動議の無い事を会場に確認の上、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次の通り記名捺印する。

2023 年 1 月 30 日

議 長 山本 幸男 印

議事録署名人 白石美弥子 印

議事録署名人 藤原 智子 印